

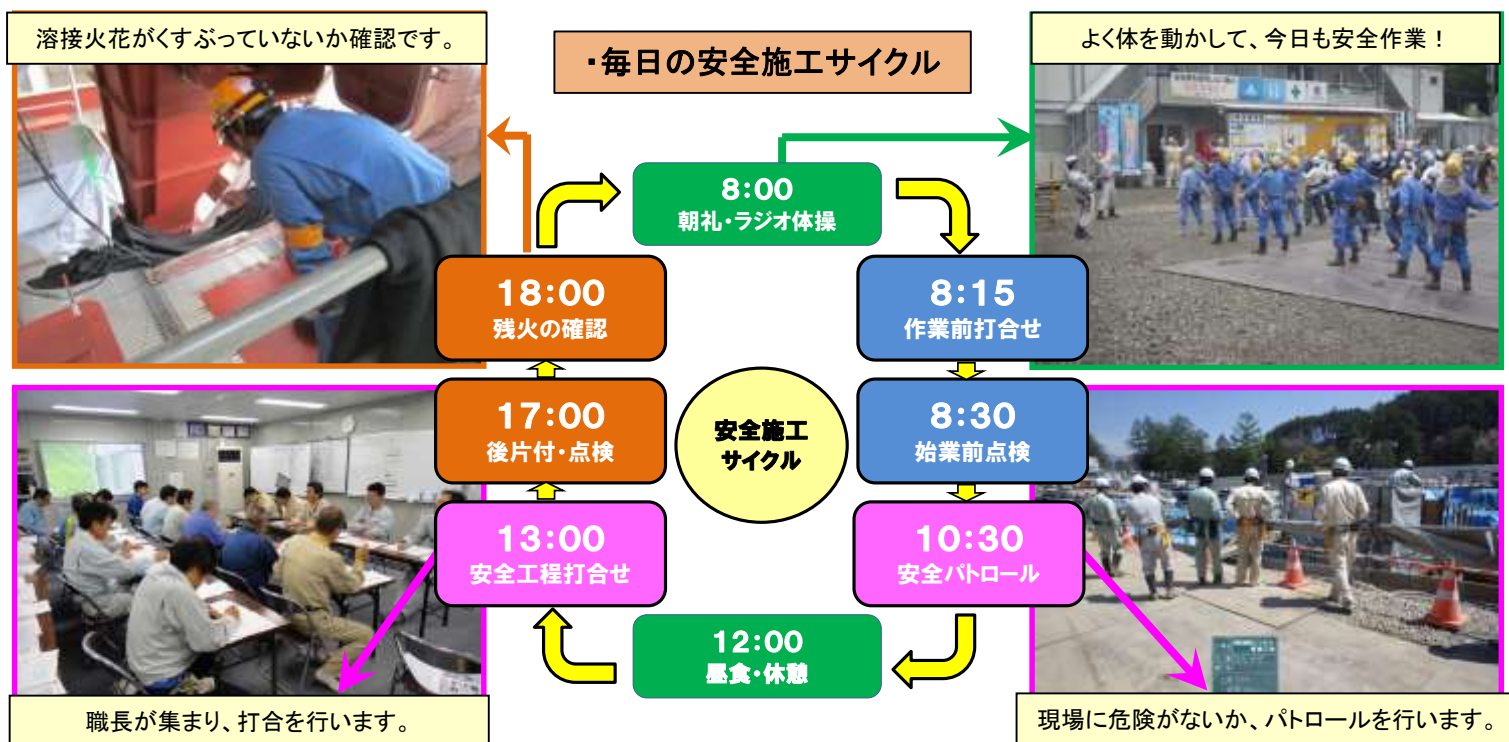


諏訪湖周クリーンセンター建設

ecoポッポ通信

■ 工事現場における安全管理への取り組み

工事現場における安全管理、労働災害の防止のため、さまざまな対策を講じています。



月間の安全行事	目的
安全大会 (6月1日実施)	工事現場で働く人全員が集まり、工程や安全衛生計画を説明・確認するほか、安全意識を向上させて災害の防止に努めます。
災害防止協議会 (6月26日実施)	協力業者全社が集まり、作業間の連絡調整、合図や標識の統一、立ち入り禁止区域の明示や調整を行い、労働災害の防止を図ります。
ヒヤリ・ハット報告 (6月30日実施)	作業中にヒヤリ! とした事を報告・共有して、今後大きな事故の発生を未然に防止します。

先月は、工事現場も梅雨入りし、本格的な雨の季節となりました。6月23日に発生した雷雨では、約2時間の作業中断を余儀なくされましたが、大きな影響はありませんでした。今後においても、雷雨の影響が心配されますが、引き続き「安全最優先」で工事を実施してまいります。

■ 周辺環境や、地域の美化活動

工事現場周辺の環境美化や、地域の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。塩嶺王城パークラインハーフマラソン (5月31日開催) に備え、コース周辺の清掃及び除草作業を行ないました。また不法投棄パトロール等を定期的に行っています。



■ ecoポッポの心臓部ついに搬入！！

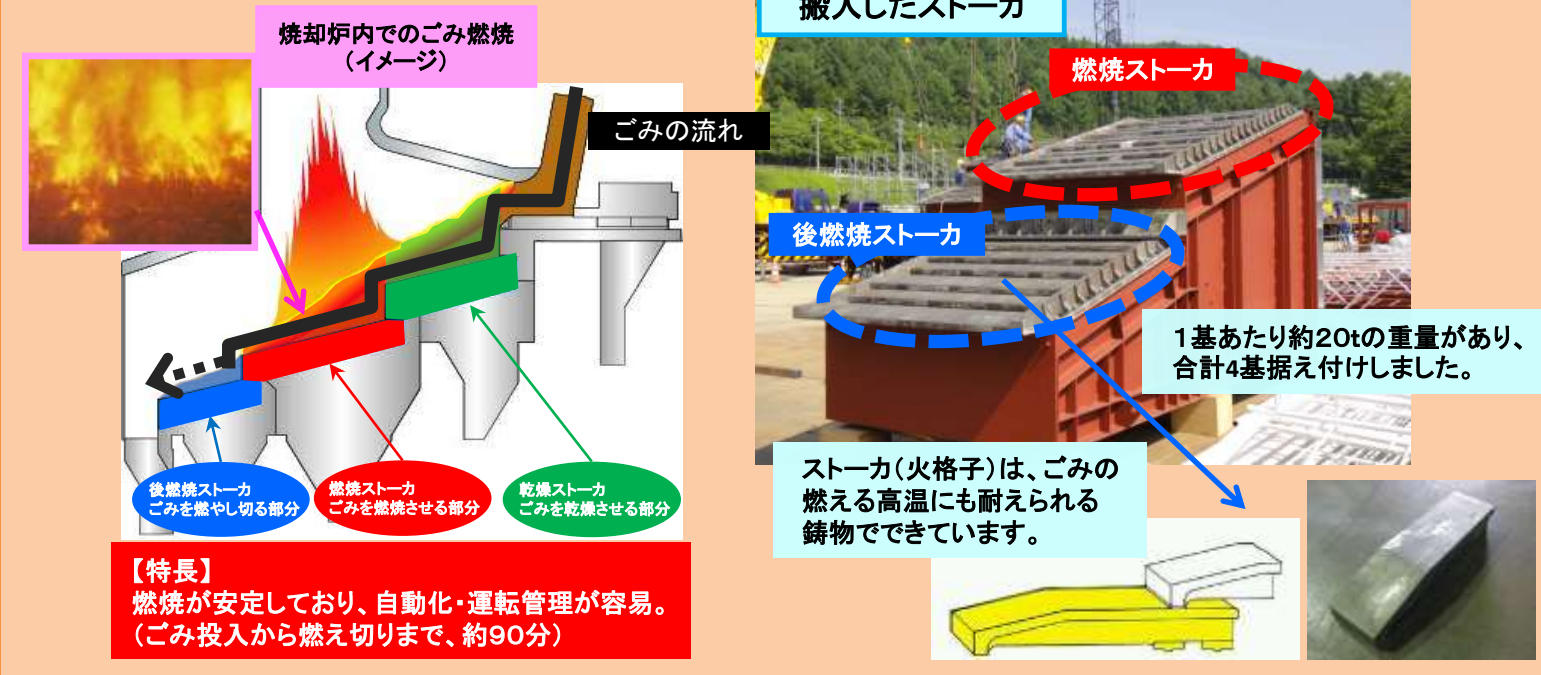
プラント工事では、ecoポッポの心臓部である焼却炉本体の組み立てがどんどん進んでいます。先月は、本施設の最も重要であるストーカ (火格子) を据付けました。

また、排ガスを処理する設備を据付けるための鉄骨の組み立ても、6月末で完了しました。

一方建築工事では、ごみピットの地下工事が進んでいます。6月末現在で地下5.6mまでコンクリートの打設を完了し、背面の埋戻を行いました。

■ ストーカ (火格子) とは??

ストーカ (火格子) は、焼却炉の底となる部分にあり、ごみは階段のような形をした多数の隙間のある火格子の上を移動しながらゆっくりと燃焼していきます。炉内に投入されたごみは、乾燥ストーカ、燃焼ストーカ、後燃焼ストーカの順に送られ、完全燃焼が図られます。

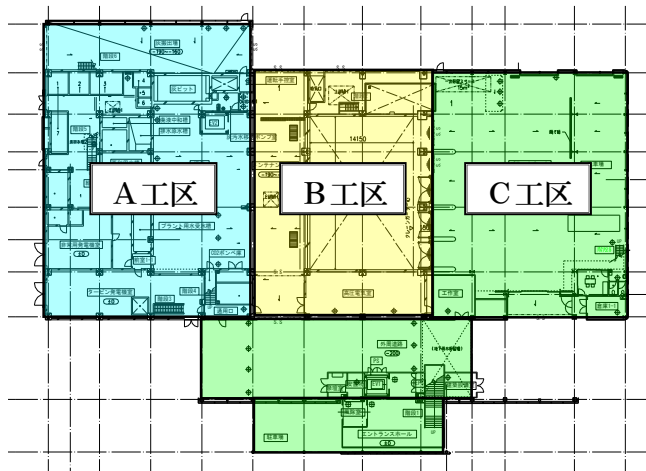


■ ストーカ据付状況：350tクローラークレーンで吊上げ据付



■工事進捗状況

工区	内容
A工区(プラント工事)	炉鉄骨建方工事、ストーカ・ストーカ下シュート据付 蒸気系補機室 タンク・ポンプ類据付、各所墨出・レベル出工事
A工区(建築工事)	各室 ALC間仕切工事、床排水溝工事
B工区(建築工事)	ごみピット壁 鉄筋・型枠・コンクリート工事、埋戻し工事
C工区(建築工事)	掘削工事、底盤鉄筋・型枠・コンクリート工事



工区位置図



最初のストーカが6月15日に搬入されました。

A工区 燃焼・後燃焼ストーカ搬入状況



床材
(グレーチング)

床材を溶接で固定しています。

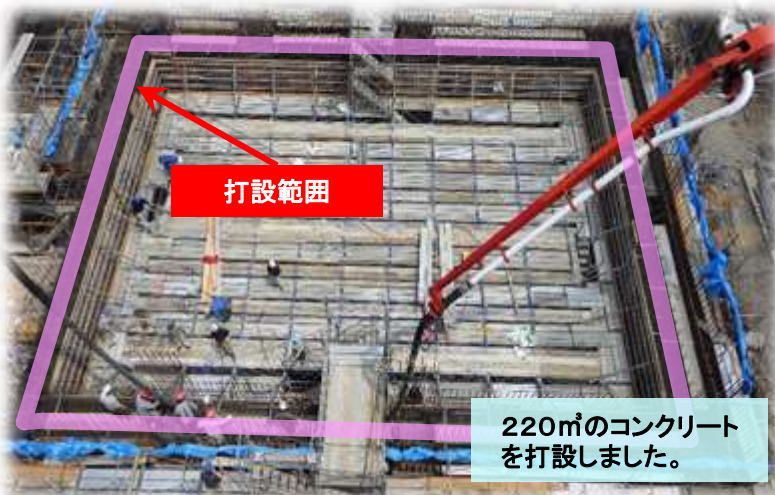
A工区 炉室点検歩廊取付状況



床排水溝

この後、溝の蓋を取り付けます。

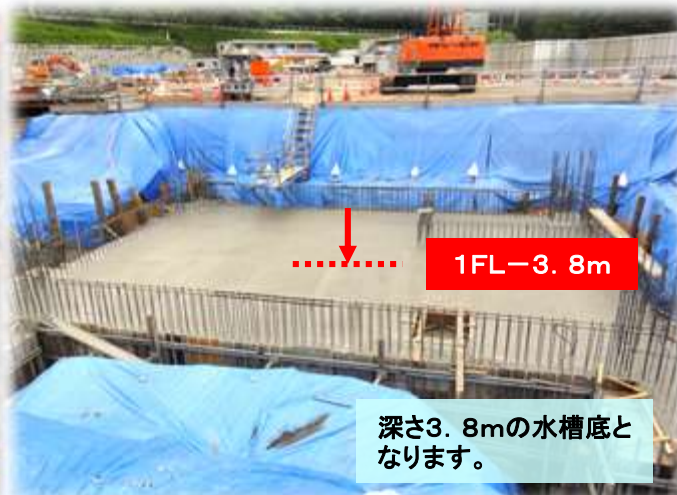
A工区 床排水溝完成



打設範囲

220㎡のコンクリートを打設しました。

B工区 ごみピットFL-5.6mコンクリート打設状況



1FL-3.8m

深さ3.8mの水槽底となります。

C工区 雨水貯留層底盤打設

■今後の予定

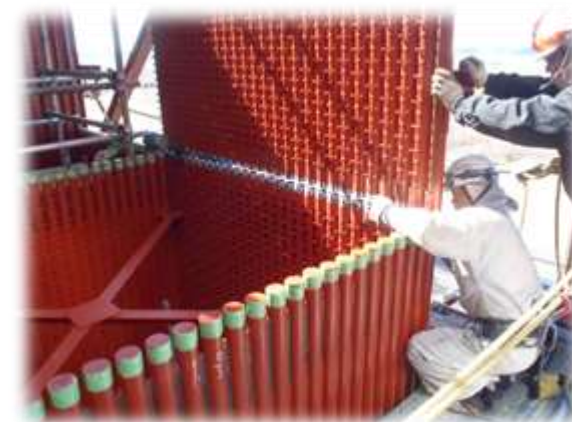
●●●7月の工事予定●●●

○建築工事

- ・A工区(炉室部分) 引続きALC壁・各所内外装工事
- ・B工区(ごみピット部分) 地下コンクリート躯体工事

○プラント工事

- ・A工区(炉室部分) 炉・ボイラ鉄骨2節建方工事、ボイラ据付工事
誘引通風機据付工事
2階蒸気系補機室機器据付工事



ボイラ据付工事(イメージ)

■敷地全体状況

5月下旬時点



6月下旬時点



発行元

諏訪湖周クリーンセンター整備事業に関する工事等連絡協議会

タクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体 連絡先:78-7143

株式会社岡谷組 連絡先:75-2679

湖周行政事務組合(岡谷市役所内) 連絡先:23-4811(内線1443・1444)